(1) 研究の目的および方法（他機関に情報提供する場合，その方法も記載）

本研究の目的は、総合病院の医療現場で、公認心理師・臨床心理士が「具体的にどのような業務を行い、患者様やご家族、他の医療スタッフにどう貢献しているか」を、複数の事例分析から明らかにすることです。そのために、患者様の外来・在宅訪問及び入退院の経過を事例として振り返り、カウンセリングや心理検査、多職種連携等の活動を通じて、患者様やご家族・医療スタッフにどのような影響を与えることが出来るかを考察します。
本研究によって、公認心理師・臨床心理士がチーム医療の中でどのような専門的役割を担っているかを具体的に示すことは、医師や看護師をはじめとする医療専門職間の相互理解を促進し、より効果的な多職種連携を行う事に繋がります。引いてはそれらが、患者及びご家族が受ける医療サービスの向上に繋がることが期待されます。

(2) 期間

- 介入期間は、2023 年 5 月 1 日から 2034 年 3 月 31 日までとします。
- 公認心理師・臨床心理士の介入が終了した後、経過を事例として振り返ります。

(3) 利用する試料・情報

- 公認心理師・臨床心理士が作成したカウンセリング記録や、心理検査の結果など
- あなたの病状や治療の経過を理解するために必要な診療記録、各種検査結果、カンファレンス（治療方針の話し合い）の記録など

収集した情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。
また研究成果として公表する際には、匿名化処理を行い、個人が特定されないよう配慮します。

(3) 利用する者の範囲
研究責任者

(4) 研究責任者および連絡先
診療局　公認心理師・臨床心理士　望月佑介
電話　058-388-0111